

本年度、利他の心醸成委員会では「利他の心の醸成」をキーワードに、その心についての自己修養、そして地域社会への発信、また、メンバー自身の非常時での対応力向上を目的とし、3つの事業を開催いたしました。

3月第一例会では、第94代内閣総理大臣 菅 直人先生を講師に迎え「決断と覚悟」～東日本大震災、その時～ と題し、東日本大震災時に国家の最高責任者としてどのようにリーダーシップを発揮されたかをご講演していただきました。「判断力」「行動力」に加え最も重要なのは「決断力」であるとお話いただき、第2部の高梨理事長との対談を含め、当時の「決断と覚悟」を肌で感じさせていただきました。

6月第二例会は、「利他の心」を地域社会に広く浸透させていくためには、メンバー自身の修養が必要不可欠であると考え、また、現地の状況を自身の目で見て、肌で感じる事が重要と考え福島の地で開催いたしました。Jヴィレッジ高田豊治副社長とホテルスパリゾートハワイアンズ下山田敏博支配人、そして現地のいわき青年会議所仙坂宜央先輩から当時の状況を詳しくお話いただくとともに、被災地を訪問することでメンバー一人ひとりが「利他の心」について改めて深く考え、海に向かって黙祷を捧げました。

10月第二例会は浦安市民まつりにて、浦安市指定寄付金付きごみ袋の周知、そして浦安市民一人ひとりに「利他の心」を伝えることを目的とし「ブース出店・販売」、例会として「一人ひとりの思いやりが世界を動かす」～ちいさなちからをあつめ、おおきなちからに～ と題しフォーラムを開催いたしました。フォーラムは、高梨理事長による寄付金付きごみ袋誕生のプレゼンテーションで幕を開け、第一部では、JCI Japan 少年少女国連大使を務めた長谷川 愛華さんと（公社）日本青年会議所議長の大島 衣恵さんによるトークセッション、第二部講演会では、オスマン・サンコンさんに「マラリアに苦しむ子どもたち」と題し、アフリカの現状をお話いただきました。また、200を超える応募の中からごみ袋の愛称が「ゆめクルン」に決定し、ブース販売では、委員会の垣根を越えたメンバーのご協力により多くの方に周知することができ、本事業を通じてご参加いただきました一人ひとりが「利他の心」について考えるきっかけになったと考えております。

最後に委員長の力不足により理事メンバー・委員会メンバーに多大なご迷惑をお掛けした事に対し深くお詫びを申し上げます。そんな委員長を最後までフォローして頂き、3つもの素晴らしい事業をこのメンバーと共に開催できたことに対し深く感謝をしております。1年間ありがとうございました。